

「にじいろきらきら 南っ子！」

< 南風 令和8年度④ >

夏休み前集会にて、二年生と四年生からそれぞれ1名が代表で「これまでを振り返って」について発表してくれました。発表内容を紹介します。他の学年は、前期の終わりや冬休み前の集会にて発表する予定となっています。

～二年生～

「わたしが二年生で、できるようになったこと」

わたしは、二年生でできるようになったことが三つあります。

一つ目は、プールでもぐることができるようになったことです。プールのじゅぎょうで、しずんでいるおもちゃを水の中にもぐってひろうことができるようになりました。そして、ビーとばんをもって、らっこみたいにぷかぷかとかぶることができるようになりました。どうしてできるようになったかというと、先生がわかりやすくおしえてくれたからです。とてもべんきょうになりました。つぎは、今よりも、もっと長くもぐれるようにしたいです。

二つ目は、ともだちとそうだんして、おもちゃらんどをつくることができたことです。どうやったらみんなにあそびにきてもらえるのか考えて、かんばんをつくり、たのしんでもらえるようにおもちゃを考えてつくりました。ほんばんは、一年生がいっぱいきてくれてうれしかったです。とてもよろこんでもらえました。これからともだちとそうだんして、いろいろなことをつくったり考えたりしていきたいです。

三つ目は、たし算とひき算のひっ算ができるようになったことです。さいしよは、くり上がりやくり下がりのかきかたがとてもむずかしかったけど、先生がわかりやすくかきかたをおしえてくれたからできるようになりました。かきかたをおぼえたら、どんなもんだいもすらすらとくことができるようになりました。

なつやすみがおわると、二年生はさんすうで九九(くく)のじゅぎょうがはじまります。九九をいっぱいれんしゅうしてすらすらといえるようにしたいです。

～四年生～

「百点をとれるように」

わたしが今がんばっていることは、漢字の勉強です。その理由は、二つあります。

一つ目は、友達自主勉強ノートを見たことです。ノートを見せてもらうなかで、がんばっている姿が想像できるくらい勉強している友達のことをすごいと感じ、わたしもやってみようと思うようになりました。

二つ目は、お母さんからおうえんの言葉をもらったことです。勉強を始めてから二週間ほどは、がんばろうという気持ちで取り組むことができていました。しかし、それからしばらくすると、面倒くさい気持ちがあり、漢字の練習をしないことが続いてしまいました。そんなときに、お母さんが、「百点をとれるようにがんばって」と声をかけてくれました。おうえんの言葉をもらったわたしは、「やはりテストで百点をとりたい」と強く思うようになり、練習を続けることができました。

このようにあきらめずに練習を続けることで、テストでは、平均して九十点以上をとれるようになりました。百点をとれることも多くなり、ほめられる回数もふえました。がんばったことをほめられると、とてもうれしくなります。だから、漢字の練習をがんばっているのです。同じように、今度の都道府県のテストでも満点をとりたいです。今は西日本の都道府県を覚えるのが苦手なので、自主勉強でやってみたいと思います。これからも友達や家族の力をかりながら、いろいろな勉強を続けていきたいと思っています。